

アスパーク便り

No.387 1月15日発行

石山 隼斗

スポーツ 合戦について

みなさんこんにちは！！今回のアスパーク便りは、記録的豪雪にも負けない私、石山が担当いたします！！
突然ですが、雪国に住む人で雪合戦をしたことがない人はいないでしょう。そのくらい雪合戦は、
なじみのある遊びであり、今や国際的なスポーツへと発展しています。
そこで、公式のスポーツとしての雪合戦についての情報をみなさんへお届けします！！

1. 競技概要

3セットマッチ(1セット3分)で、相手に雪玉を沢山当てます。
2セット先取したチームの勝ちです。

2. チーム編成

試合出場選手7名、補欠2名、監督1名が基本ですが、選手7名だけでも参加できます。

3. 競技者

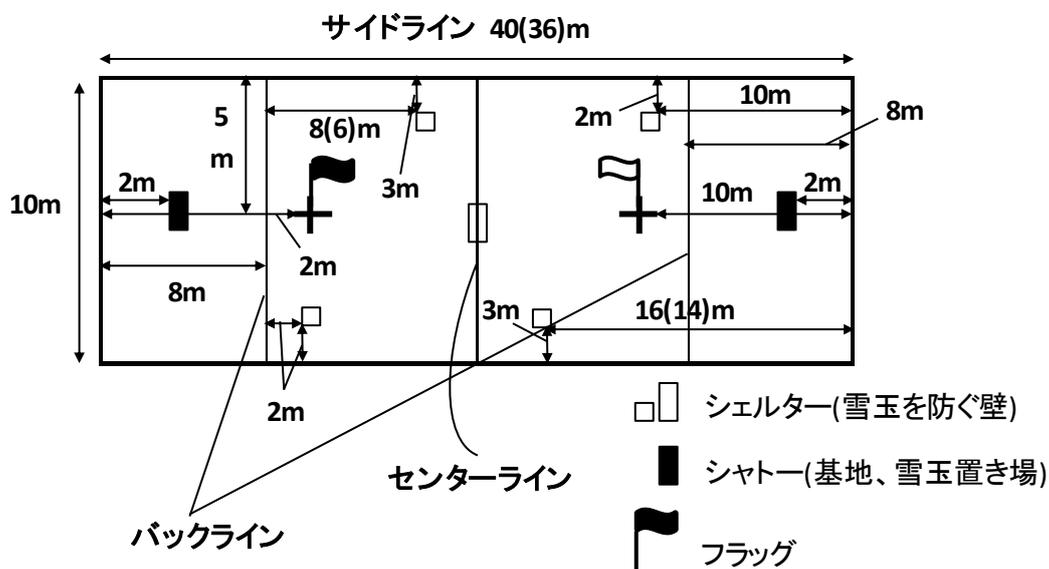
フォワード4名、バック3名で構成されます。
フォワードは自陣のバックラインより後ろには下がられません。
センターラインを越えて相手コートに入ることが出来るのは3名以内です。
4名以上入った場合、そのチームはセットを失います。



裏面へ続く

4. コート

横 40(36)m、縦 10m のコート内に、シェルター5基、シャトー2基で壁を作り、両チームはフラッグを立てます。



5. 雪玉について

雪玉は直径 6.5~7cm で、1セット中に 90 個まで使用できます。

6. 勝敗条件

競技者 1 人 1 ポイントで計算されます。雪玉が触れるとアウトとなり、その選手はコートから除外されます。

相手チームを全員アウトにする
相手チームのフラッグを抜く



10 ポイントを獲得し、セット終了

ゲームが 3 分続いた場合



タイムアップとなり、コート内の残り人数でポイントを集計する。同点の場合は引き分け

取得したセットが同じ場合



全取得ポイントの多い方が勝利

取得セットもポイントも同じ場合



シャトーの上の的を置き、両チームの代表 5 名が、バックライン後方より 1 名ずつ交互に雪球を投げ、的を多く倒したチームの勝利(ビクトリー・スロー)

動画サイトなどで競技の様子も見るすることができます。皆様も挑戦してはいかがでしょうか!?

参考:日本雪合戦連盟ホームページ

ケンズニュース

浅間高原雪合戦競技要項